

奈良県立大学 実践型アートマネジメント人材育成プログラム CHISOU

プログラム2「生態」

CHISOU

Ethno-Remedies: Bedtime Stories ⇒ A Life's Manual

2021年12月18日（土）-12月26日（日） 11:00-17:00

入場無料・予約不要・入退場自由

会場：ふうせんかずら 蔵

TALKS

トーク1

2021年12月25日（土）14:00-16:00

登壇者：長坂有希（アーティスト）、山口未花子（動物人類学者）、
吉岡幸次（養蜂家）、吉岡伸次（養蜂家）

トーク2

2021年12月26日（日）14:00-16:00

登壇者：長坂有希（アーティスト）、長岡綾子（グラフィックデザイナー）

※トーク1、2とも一般参加者はZoomによるオンライン参加のみ（参加無料・要予約）

CAFE

ハチニンカフェ

展示と関連した軽食やお菓子、ドリンクを販売します

2021年12月25日（土）11:00-14:00 / 16:00-21:00

会場：ふうせんかずらキッチン

予約不要・入退場自由



長坂有希 ワークインプロGRESS展

映像撮影：山中美有紀

同時開催：

プログラム1「感覚」展示 (listude、岩田茉莉江) 2021年12月25日(土)、26日(日) 会場：Dear Gallery NARA

プログラム3「時間」展示 (山城大督) 2021年12月26日(日) 会場：Dear Gallery NARA

プログラム4「共有空間」公開制作 (鈴木文貴、西尾美也) 2021年12月25日(土)、26日(日) 会場：柴田ビル3F

大学から



文化庁

令和3年度文化庁大学における文化芸術推進事業
 「地域の多層化と共有空間の創造に向けた実践型アートマネジメント人材育成プログラムCHISOU」
 主催：奈良県立大学
 運営体制：ディレクター 西尾美也、プログラムマネージャー 西尾咲子、プログラムコーディネーター 飯村有加・内山幸子・古江晃也、コミュニケーションデザイナー 山本あつし
 制作：プログラム2「生態」プロジェクトメンバー
 「井上謙吾、榎本歩美、神田梨生、木村希、続木梨愛、野村隆文、早田典央、HUANG Peng Chial」
 協力：井上唯、山中美有紀、吉岡養蜂園

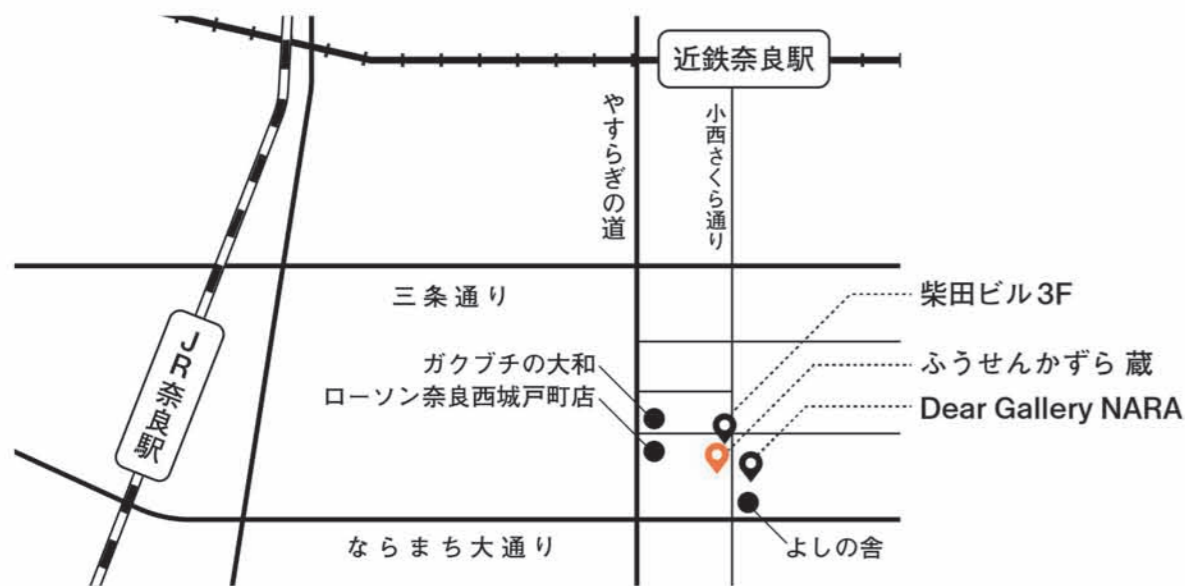
実践型アートマネジメント人材育成プログラム
 CHISOUとは
 アートプロジェクトの実践を通して学び合い、答えのない時代を生きる技術を育むために、奈良県立大学が2020年4月に開始したアートマネジメント人材育成プログラム。読解・表現・共有のプロセスを幾重にも重ねながら、美術や音楽、空間デザインなどの芸術領域を横断するアートプロジェクトを、多角的かつ総合的にマネジメントするための技法を実践的に身につけます。
 2021年度は、「感覚」「生態」「時間」「共有空間」をテーマとする4つのプログラムを開講。各プログラムでは、アーティストと受講者によるプロジェクトチームを編成し、講師によるレクチャーや専門家との対話を通して各テーマについて思考を深めながら、アートプロジェクトを共に企画・制作・実施します。

アクセス：

ふうせんかずら 〒630-8344 奈良県奈良市東城戸町32

近鉄線奈良駅3番出口より徒歩7分/JR線奈良駅より徒歩13分

※会場には駐車場がございませんので近隣のコインパーキングをご利用ください。



問い合わせ：奈良県立大学 CHISOU lab.

〒630-8258 奈良県奈良市船橋町10 奈良県立大学 地域交流棟3F Tel: 0742-93-5296 (平日のみ)

Email: arts-management@narapu.ac.jp

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、感染予防対策を講じて開催します。今後の新型コロナウイルス感染症やその他の状況によっては、中止や変更が生じる可能性があります。ウェブサイトやSNSで最新の情報をご確認の上、ご来場ください。



Reservation

トーク (オンライン参加のみ) の予約方法：
QRコードのウェブサイトに記載の
予約フォームよりご予約ください。



<https://narapu-chisou.jp/news/2021/1996/>

Ethno-Remedies:

Bedtime Stories

A Life's Manual

長坂有希は昨年度から「Ethno-Remedies: Bedtime Stories⇄A Life's Manual」と題し、養蜂や在来野菜、薬草の栽培、葛の精製など、奈良の風土の中で育まれてきた生きるための技術と知恵を持つ人々への聞き取りやフィールドワークを行ってきました。

今年度は養蜂に焦点を絞り、奈良で養蜂を営む一家の仕事に密着して活動を行いました。初夏には北海道への移動養蜂に同行したり、プロジェクトメンバーと養蜂家の経験則を元にしてハチの生態を想像しながら巣箱に着色したりもしました。

本展では現在も進行中の活動の一端を展示し、私たちが暮らしている環境を異なる視点から見つめる試みを共有します。

アーティスト・プロフィール
 長坂有希
 (アーティスト/香港城市大学クリエイティブ・メディア学科博士課程研究員)
 1980年大阪府生まれ、日本・香港在住。日常の暮らしの中で出会う事象を綿密にリサーチし、自らの体験や記憶を織り交ぜながら物語を編み、語ることをとおして、物事の関係性の再定義や、周縁のものたちからの視点を提示し、異なる人々や生物のあいだに存在している権力構造の再考を試みる。